

グラフで見る 十勝農業の歴史（2）

－畜産（2）馬・中小家畜（綿羊，山羊，鶏，豚）－

Historical outline about farm animals in Tokachi (2)

－ The horse, sheep, goat, chicken and pig －

帯広百年記念館 編

はじめに

本稿は、十勝農業の歴史を農畜産物生産量のグラフから概観してみようと企画したものである。グラフのデータは、平成8年度から平成12年度まで帯広百年記念館の郷土史調査員であった井上寿が執筆し、平成13年度以降、その原稿の整理を進めてきた『十勝農業史』に所収されている統計値をもとにしている。

また、グラフに表現されている生産量の推移についての理解を助けるために、『十勝農業史』より関連する事項を抜き出し、要約したものを併記した。今回は「帯広百年記念館紀要 第25号 畜産（1）乳牛・肉牛」に続き、馬・中小家畜（綿羊，山羊，鶏，豚）を取り上げている。

グラフの見方

『十勝農業史』に所収されている農業生産量の統計値（明治29年（1896）～平成10年（1998））は、井上氏が様々な資料を参照し、まとめたものである。本稿では、井上氏が参照した統計資料をもとにデータを整理し、グラフ化した。

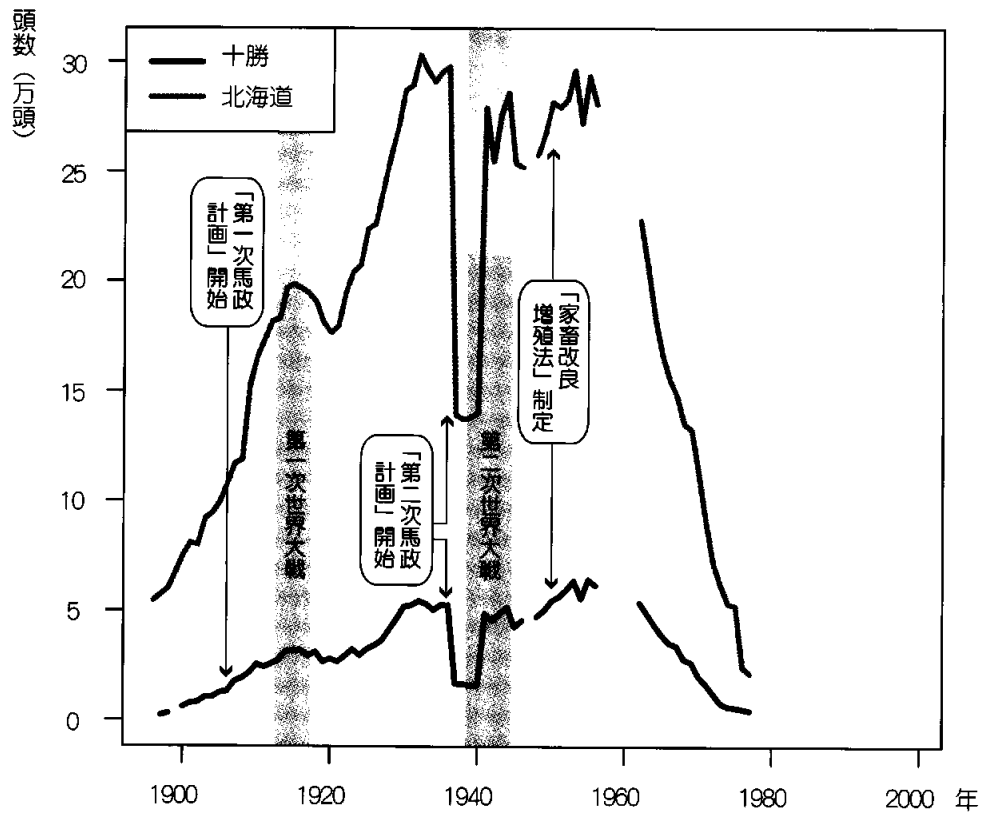
グラフは、北海道と十勝管内における馬・中小家畜の飼養頭数を折れ線で表したものである。線が途切れている箇所は、データがない年である。また、飼養頭数の推移に関して理解を深めていただくために、馬・中小家畜の飼養頭数に関する、主な出来事をグラフ中に併記した。

統計資料は、帯広統計・情報センター（旧：帯広統計情報事務所）にあるものを参考とした。参考資料が見つからない場合は、やむをえず空欄としている。今回、データを整理するにあたって様々な資料を使用しているため、単位や調査基準は異なる。本稿の最後に掲載している統計表に、出典（下記参照）と基準単位を明記しているので、細部に関しては留意する必要がある。

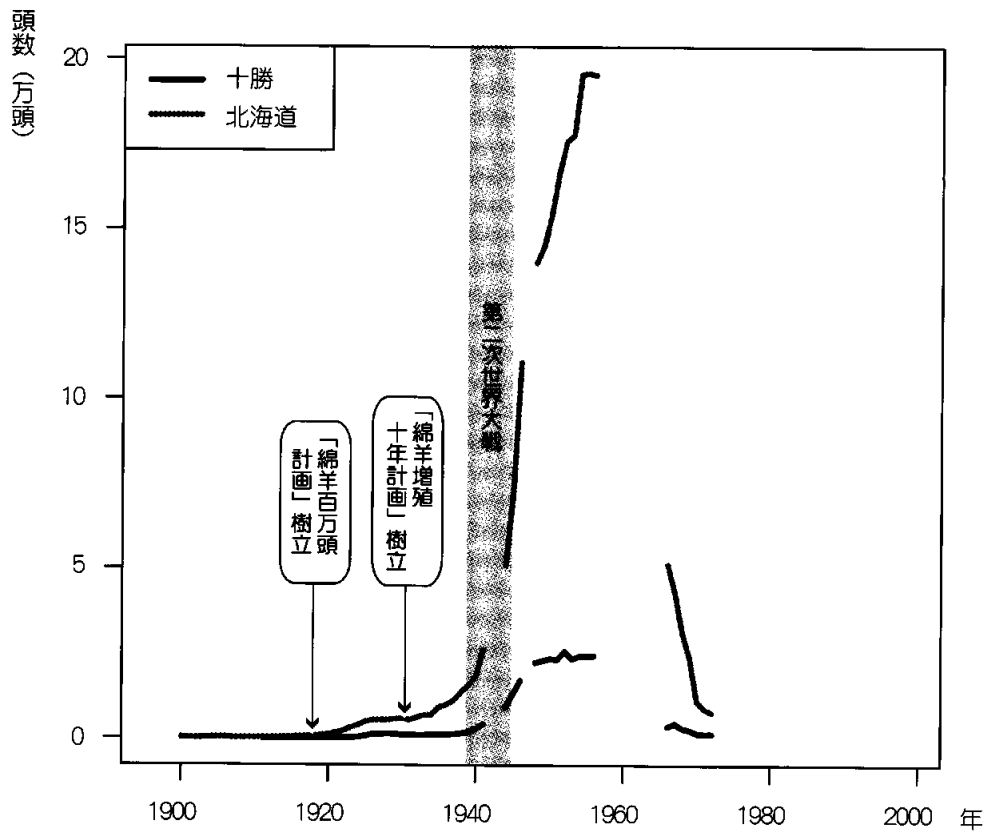
- 《出典》 a：（寒冷地農業調査資料）北海道農業累年統計表 農林省 昭和33年2月
 b：北海道農林水産統計50年の歩み 農林水産省 北海道統計情報事務所 平成9年12月
 c：市町村別畜産累年統計（含乳用牛の飼養動向）日高・十勝・釧路 昭和45～52年 農林省帯広統計情報事務所 昭和53年3月
 d：累年畜産統計 昭和37年～昭和47年 附牛乳・肥育豚・鶏卵生産調査・生乳検査量 農林省帯広統計情報事務所 昭和48年3月
 e：北海道農林水産統計年報（農業統計市町村別編）平成8年～9年 1996～'97 農林水産省北海道統計情報事務所 平成10年2月
 f：北海道農林水産統計年報（農業統計市町村別編）平成9年～10年 1997～'98 農林水産省北海道統計情報事務所

- 《凡例》 a：「（空欄）」、「？」、「－」資料に詳細が記載されていないため、すべて不明。
 b：「－」事実のないもの

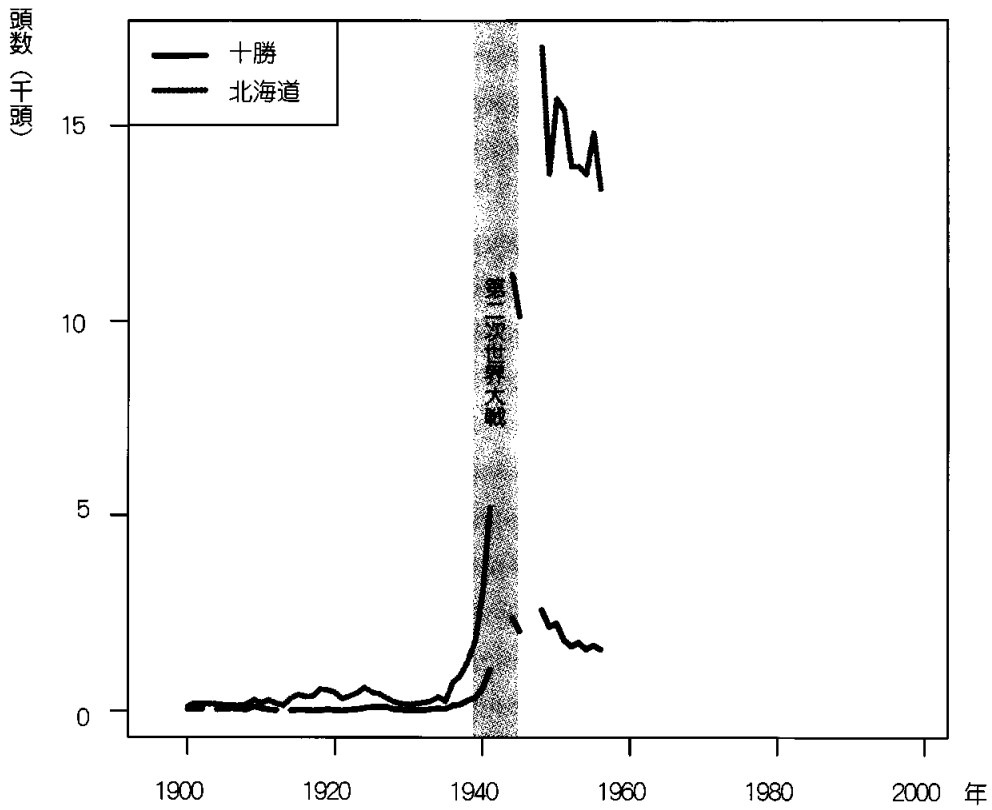
グラフで見る十勝農業の歴史（2）



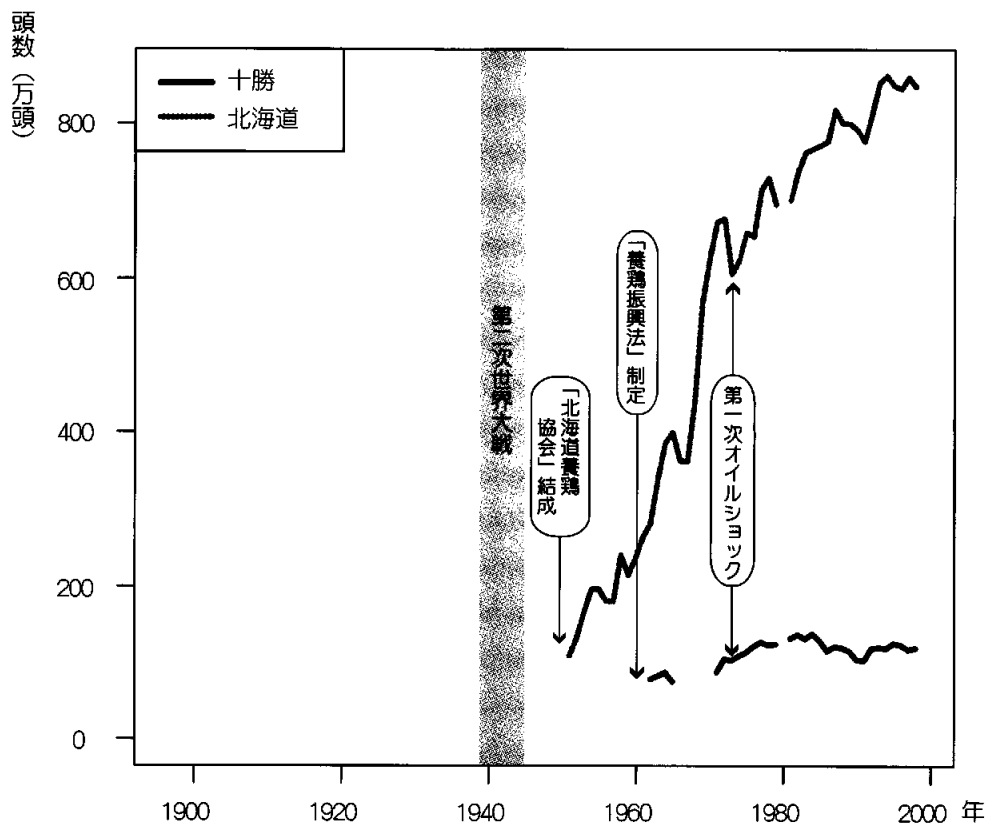
グラフ1：馬の飼養頭数と主なできごと



グラフ2：綿羊の飼養頭数と主なできごと

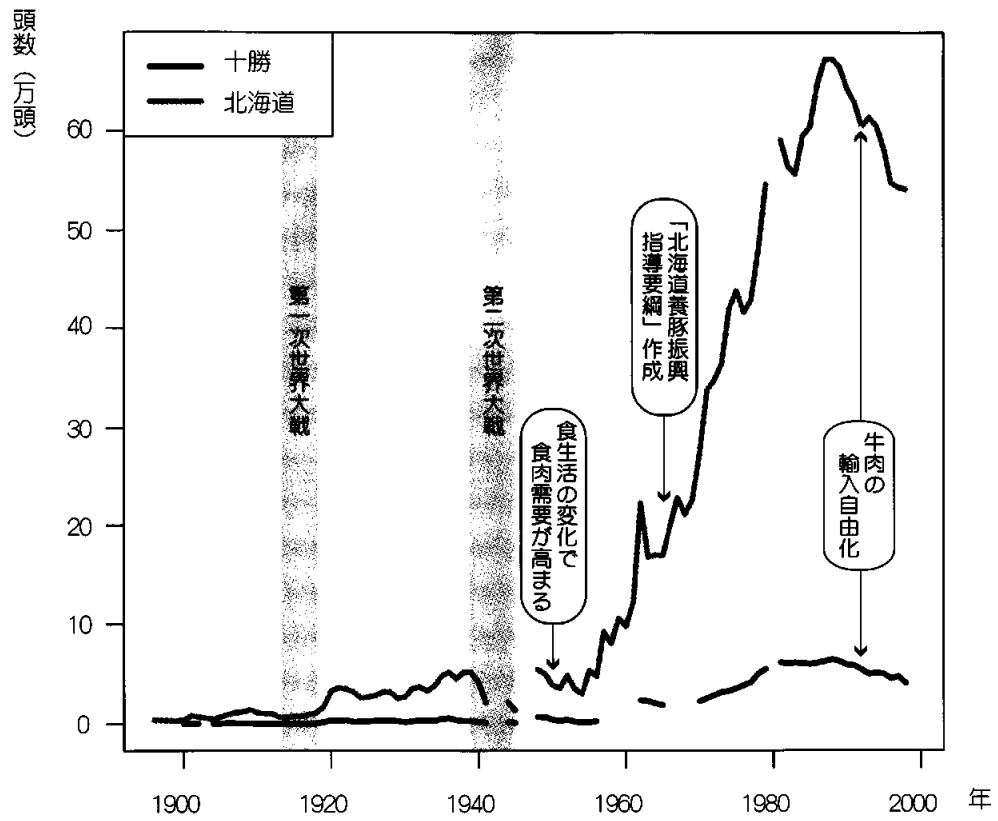


グラフ3：山羊の飼養頭数と主なできごと



グラフ4：鶏の飼養頭数と主なできごと

グラフで見る十勝農業の歴史（2）



グラフ5：豚の飼養頭数と主なできごと

十勝農業の概要－畜産（2）馬－

井上寿著「十勝農業史」

第3編 十勝農業変遷史, 第2章 家畜の飼育, 第1節 畜産発達の概要・第2節 馬 より

明治・大正(1868～1925年)

明治20年(1887)に北海道庁は「民有牛馬籍規則」を制定し、馬の飼養頭数の把握と、改良・増殖の促進を目指した。また同年、胆振・日高・十勝(浦幌町生剛村)管内に「産馬改良組合」が発足し、十勝でも産馬改良が始まった。

明治26年(1893)に農商務省と陸軍で「馬匹改良調査委員会」が設置されると、在来馬は体格・能力とも軍馬としての資格に欠けていることがわかり、馬産は軍馬の改良に力が注がれるようになった。その後、改良計画樹立について協議する「馬匹調査会」(明治28年(1895))を設置し、種馬の選定方針や輸入種牡馬の範囲を定めた。日露戦争後は、内閣直属の馬政局が設置され、馬政計画も立てられた。「第一次馬政計画」(第一期:明治39年(1906)～大正12年(1923), 第二期:大正13年(1924)～昭和11年(1936))では、国防・産業ともに役立つ馬が目指され、日高・新冠・十勝(明治42年(1909))の種馬牧場や、胆振・十勝(大正12年(1923))・北見・釧路の種馬所が大きな役割を果たした。

なお、北海道の馬産は軍馬以外にも農業経営、荷役・造材運搬、競馬界において重要な役割を果たしていた。十勝では明治30年代中頃からこうした馬の導入や馬耕が盛んになり、2頭曳きの賃耕による耕起作業も始まった。

昭和初期(1926～1945年)

「第一次馬政計画」が終了する昭和11年(1936)に、「第二次馬政計画」(第一期:昭和11～20年(1945), 第二期:昭和21(1946)～40年(1965))が立てられた。第二次馬政計画は、第一次計画と同じく軍事と産業の両面に力を入れるものであった。しかし日中戦争により軍馬第一主義がさらに強まり、軍馬の整備・供給を主眼とした「日満二巨ル馬政国策」、「内地馬政計画」が立てられ(昭和13年(1938)), 第二次馬政計画は廃止された。翌年の昭和14年(1939)には「内地馬政計画実施要領」(～昭和20年(1945))が定められ、「種馬統制法」と「軍馬資源保護法」により馬産統制と軍馬政策が進行した。

軍事に関わるために特別扱いされていた馬産は、早くから組織の系統化が進み、畜産組合は昭和17年(1942)に「産馬畜産組合および北海道産馬畜産組合联合会」、昭和19年(1944)に「馬匹組合」と改称された。また「北海道馬匹組合联合会」も設立された。

その中で、昭和15年(1940)から昭和19年(1944)まで軍馬鍛錬に名を借りた鍛錬競技とよばれる地方競馬が旭川・岩見沢・帯広の3カ所で行なわれていた。

北海道は馬の生産地や育成地としての意義が大きかったため、大量の軍馬徴発と購買があった昭和16年(1941)をのぞいて、総頭数と生産頭数は増加している。それに伴い価格も上昇し、昭和18年(1943)は昭和11年(1936)と比べ6倍となった。

第二次大戦後～昭和49年(1945～1974年)

第二次大戦の敗北により、長年続いた軍馬政策は打ち切られ、「軍馬資源保護法」（昭和20年（1945））と「種馬統制法」（昭和22年（1947））は廃止された。また、牛馬中心の「種畜法」に代わり「家畜改良増殖法」（昭和25年（1950））が制定され、馬は綿羊・山羊・豚とともに一般家畜として扱われるようになった。さらに、種馬牧場や種馬所も廃止、あるいは各種家畜改良機関と統合されて総合的種畜牧場となったことにより馬の飼養頭数は激減した。十勝種馬所、北海道種馬育成所は十勝種畜牧場（対象家畜：黒毛和種・日本短角種役肉牛、大型農馬、コリデール種綿羊）となった。

その後、自動車や農業機械が普及し道路が整備されるなど生活形態の変化により、北海道の飼養頭数は昭和28年（1953）をピークに減少し、特に昭和35年（1960）以降はその傾向が激しくなった。しかし、軽種馬に限れば競馬の復活で飼養頭数は増加し、日高の軽種馬生産頭数は昭和24年（1949）の180頭（全国の21%）から、昭和49年（1974）には7600頭（全国の69%）となった。

公認競馬は昭和18年（1943）に廃止されたが、「地方競馬法」（昭和21年（1946））、「競馬法」（昭和23年（1948））により、政府と都道府県・地方都市がおこなう国営（公営）競馬として復活した。その後は「日本中央競馬会法」（昭和27年（1952））により、特殊法人日本中央競馬会が国営競馬を中央競馬として引き継ぎ、競馬は中央競馬と地方競馬に分かれた。昭和34年（1959）には、北海道の中央競馬の施設としては札幌・函館競馬場、地方競馬施設としては旭川・北見・帯広・岩見沢競馬場があった。昭和24年（1949）からは、公営競馬としてばんえい競馬も行なわれるようになった。

昭和50年～平成10年(1975～1998年)

競馬の隆盛により競走馬の生産は増加したものの、一般馬産はふるわず、昭和50年代には生産態勢の維持が危ぶまれるほど飼養頭数は減少した。そのため、農林水産省は生産を維持するために海外からの優良種雌馬導入事業を実施した。計画的な生産と確保を目指して、昭和58年（1983）に「農用馬改良集団育成事業」を開始し（平成3年（1991）に「馬高度利用推進事業」と改称）、平成6年（1994）まで海外から優秀馬を導入した。

十勝農業の概要－畜産（2）中小家畜（綿羊・山羊・鶏・豚）－

井上寿著「十勝農業史」

第3編 十勝農業変遷史，第2章 家畜の飼育，第1節 畜産発達の概要・第2節 中小家畜 より

明治・大正(1868～1925年)

この頃、家畜は牛馬以外に綿羊・山羊・豚なども飼養されていたが、数はごくわずかであった。

綿羊は、政府により羊毛の増産を目的とし明治の初めにアメリカから輸入されたが成績が振るわず、明治40年(1907)にオーストラリアからの再輸入が計画された。しかし、これも第一次世界大戦により中断してしまった。その後「綿羊百万頭計画」(大正7年(1918))が立てられ、月寒・幌倉に種羊場を設けるなど政策は実施されたが、成果をあげることはできなかった。多少の変化としては、毛肉兼用種の輸入にともない羊肉の需要が増加したことがあげられる。十勝への綿羊の導入は、山羊、鶏、豚より遅れたが、大正13年(1924)に十勝綿羊組合が設立された。

山羊は産業や副業としての飼養は行われておらず、飼養数は極端に少なかった。しかし、日中戦争以後は軍需物資としての毛皮が利用されたり、航空機用カゼインの原料となる牛乳の代替として山羊乳の生産が強制されるなど、飼養頭数が増加した。十勝では、晩成社が明治17年(1884)に飼養を始めた記録がある。

鶏は自家利用として一般に広く飼養されていたが、それを上回るほど鶏卵の需要は多く、増殖計画に力が注がれていた。北海道では明治21年(1888)に札幌養鶏場が開設されたが、明治22年(1889)に廃止、その後は真駒内種畜場と樺戸監獄に移され、改良、増殖が続けられた。十勝では、十勝郡農会が明治44年(1911)に孵卵器を購入し貸し付けるなど、増殖を奨励した。

豚は、開拓使時代にアメリカから輸入され農家に配付されたものが、引き続き飼養されていた。十勝では、晩成社の依田勉三らによって明治17年(1884)に養豚が始められた。その後、入植者の急増とともに飼養頭数は増加し、明治35年(1902)に約370頭であったのが明治40年(1907)には約820頭となった。

昭和初期(1926～1945年)

これまで重用視されていなかった中小家畜も、「農業合理化方針」により牛馬とならんで増殖が奨励されるようになった。

綿羊は、軍需物資として羊毛の強制供出があったことと、衣料品不足のための自家利用から飼育頭数が増加した。大正末期に全国で約18000頭だったものが、昭和9年(1934)に「綿羊増殖10年計画(30万頭計画)」が立てられ、昭和12年(1937)には約90000頭になった。その中で北海道は飼養頭数が多く、飼養頭数の占める割合は全国1位であった。

山羊は、昭和12年(1937)ころから太平洋戦争にかけて牛乳の不足から山羊乳を利用するようになり、飼養頭数が著しく増加した。

鶏の飼養頭数は、政府による鶏卵の国内自給を目標とした奨励政策により(昭和2年(1927))、昭和13年(1938)には4800万羽、産卵個数は40億個に達した。しかし、戦争で飼料の食糧化が進んだため昭和13年(1938)をさかいに急激に減少し、昭和23年(1948)には全国で2500万羽となった。

豚の飼養頭数は短期的に増減を繰り返しながらも、長期的には増加していった。昭和元年（1926）頃は全国で約51万頭であったが、昭和12年（1937）には約100万頭と倍増した。昭和14年（1939）から昭和15年（1940）には、養豚繁殖場の建設費や種豚購入費の補助が行われるようになったが、戦後は濃厚飼料や労働力の不足により、乳牛と同様急激に減少した。なお十勝では、昭和2年（1927）に新田牧場（幕別町）が本格的な養豚事業に着手している。

第二次大戦後～昭和49年（1945～1974年）

終戦時、食糧不足による鶏・豚などの密殺が増え、綿羊を除いた中小家畜の数は激減した。しかし綿羊・山羊・豚は非農家でも手軽に飼えることもあり、昭和22年（1947）から飼養頭数は増えはじめた。

綿羊の飼養頭数は、第二次大戦後急激に増加した。老廃羊や事故斃死の綿羊による焼き肉食用法（ジンギスカン）がはじまったのはこの頃である。しかし、化学繊維の普及にともない昭和31年（1956）をピークにゆるやかに減少、近年も食肉用として飼養されているものの飼育頭数は少ない。

山羊の飼養頭数は北海道では昭和23年（1948）にピークに達し、その後、牛乳や乳製品の順調な出回りと消費の増大に比例して衰退していくことになる。

養鶏は、食糧事情が好転しはじめた昭和25年（1950）頃に再び注目されるようになり、種鶏の改良や種卵確保のために、民間において多産鶏種の種卵・種雛がさかんに輸移入された結果、昭和30年代に一年間で300個の卵を産む鶏が出現した。このような状況にともなって、昭和25年（1950）に「北海道養鶏協会」が結成され、昭和35年（1960）には「養鶏振興法」が制定されるなど制度化が進んだ。その後、飼育室を棚状に重ね少数ずつ区切って立体的に飼養するバタリー（ケージ養鶏）が一般化し、給餌から給水・集卵・洗卵・選卵が自動化するなど飼養形態に変化が起こり、大型・企業化が進んだ。十勝でケージ飼養法による大型飼養が始まったのは、昭和34年（1959）頃である。

昭和48年（1973）には、第一次オイルショックやソビエトによる中国農産物の大量買付けにより飼料や生産資材の価格が暴騰し、鶏や豚などの飼養、経営は大きな影響を受けた。

豚は、昭和20年代は自給的な飼養形態であったが、昭和30年代になると食生活の変化による食肉需要の高まりで、飼養戸数・頭数ともに増加した。昭和30年代前半までの飼養規模は1戸当たり2頭余だったが、「農業基本法」や「畜産物価格安定法」などの施行により、昭和36年（1961）から昭和37年（1962）にかけては約2倍に増えた。しかし昭和38年（1963）には再び減少に転じ、北海道における養豚業の体質の弱さが明らかになったことから、北海道庁は昭和40年（1965）に計画的で安定した生産を目的とした「北海道養豚振興指導要綱」をつくり、主産地の形成や計画出荷の指導・種雄豚認定事業などを実施した。そして、養豚業は大型で専門的な経営へと変化していくことになった。

昭和50年～平成10年（1975～1998年）

綿羊の飼育頭数は、昭和31年（1956）をピークに減少していたが、近年は食生活の多様化による生鮮ラム肉の需要増加や観光資源・羊毛の見直しなどによって一時的に増加している。

山羊乳は栄養補給源としての価値がなくなり、ほとんど姿を見なくなった。その中で、平成14年（2002）に清水町で「第5回全国山羊サミット」が開かれた。この大会は、減少傾向にある国内の山羊生産の振興を目的に開催された。清水町では現在、おもに沖縄県で消費する食肉用として山羊が飼

養されている。

養鶏は、昭和50年代に各戸飼育から専業化へ変化し、飼養戸数は減少した。また近年は、卵価の低迷により中小規模農家が飼養を中止し、飼養戸数はさらに減少した。しかしながら、一戸あたりの飼養頭数は増加している。

豚は、昭和60年（1985）には約6万頭だったが、それ以後、枝肉価格の低迷などで小規模農家が飼育を中止し減少している。平成に入ってから、輸入豚肉の増加や牛肉の輸入自由化によりさらに減少した。

グラフで見る十勝農業の歴史(2)

表1: 馬の飼養頭数

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|------|-------|--------|--------|----|---------|
| 1896 | 明治29年 | 54666 | | a | 1 |
| 1897 | 明治30年 | 57353 | 2146 | a | 1 |
| 1898 | 明治31年 | 60094 | 3045 | a | 1 |
| 1899 | 明治32年 | 67492 | - | a | 1 |
| 1900 | 明治33年 | 75016 | 5960 | a | 1 |
| 1901 | 明治34年 | 80757 | 7691 | a | 1 |
| 1902 | 明治35年 | 79788 | 8141 | a | 1 |
| 1903 | 明治36年 | 91767 | 10427 | a | 1 |
| 1904 | 明治37年 | 94417 | 10543 | a | 1 |
| 1905 | 明治38年 | 99379 | 12575 | a | 1 |
| 1906 | 明治39年 | 107934 | 13232 | a | 1 |
| 1907 | 明治40年 | 116874 | 17818 | a | 1 |
| 1908 | 明治41年 | 118695 | 19298 | a | 1 |
| 1909 | 明治42年 | 152558 | 21678 | a | 1 |
| 1910 | 明治43年 | 165792 | 25655 | a | 1 |
| 1911 | 明治44年 | 173843 | 24395 | a | 1 |
| 1912 | 大正1年 | 181920 | 25904 | a | 1 |
| 1913 | 大正2年 | 183298 | 27768 | a | 1 |
| 1914 | 大正3年 | 196882 | 31757 | a | 1 |
| 1915 | 大正4年 | 198556 | 31965 | a | 1 |
| 1916 | 大正5年 | 196607 | 32178 | a | 1 |
| 1917 | 大正6年 | 194566 | 29539 | a | 1 |
| 1918 | 大正7年 | 190539 | 31369 | a | 1 |
| 1919 | 大正8年 | 181261 | 26777 | a | 1 |
| 1920 | 大正9年 | 176721 | 28150 | a | 1 |
| 1921 | 大正10年 | 179734 | 26850 | a | 1 |
| 1922 | 大正11年 | 194855 | 29439 | a | 1 |
| 1923 | 大正12年 | 204120 | 32496 | a | 1 |
| 1924 | 大正13年 | 207384 | 29742 | a | 1 |
| 1925 | 大正14年 | 223905 | 32703 | a | 1 |
| 1926 | 昭和1年 | 225966 | 34380 | a | 1 |
| 1927 | 昭和2年 | 241375 | 36517 | a | 1 |
| 1928 | 昭和3年 | 256859 | 41583 | a | 1 |
| 1929 | 昭和4年 | 270111 | 46397 | a | 1 |
| 1930 | 昭和5年 | 287188 | 51965 | a | 1 |
| 1931 | 昭和6年 | 289498 | 52672 | a | 1 |
| 1932 | 昭和7年 | 303196 | 54469 | a | 1 |
| 1933 | 昭和8年 | 296239 | 53225 | a | 1 |
| 1934 | 昭和9年 | 291019 | 50461 | a | 1 |
| 1935 | 昭和10年 | 295396 | 52703 | a | 1 |
| 1936 | 昭和11年 | 297832 | 52772 | a | 1 |
| 1937 | 昭和12年 | 139342 | 17026 | a | 1 |
| 1938 | 昭和13年 | 137305 | 16359 | a | 1 |
| 1939 | 昭和14年 | 138079 | 16259 | a | 1 |
| 1940 | 昭和15年 | 140572 | 16144 | a | 1 |
| 1941 | 昭和16年 | 279197 | 48628 | a | 1 |
| 1942 | 昭和17年 | 254867 | 45621 | a | 1 |
| 1943 | 昭和18年 | 275946 | 48729 | a | 1 |
| 1944 | 昭和19年 | 285980 | 51584 | a | 1 |
| 1945 | 昭和20年 | 253984 | 42778 | a | 1 |
| 1946 | 昭和21年 | 252197 | 45664 | a | 1 |
| 1947 | 昭和22年 | ? | ? | a | 1 |
| 1948 | 昭和23年 | 257720 | 47539 | a | 1 |
| 1949 | 昭和24年 | 267964 | 50213 | a | 1 |
| 1950 | 昭和25年 | 281916 | 54476 | a | 1 |
| 1951 | 昭和26年 | 279512 | 56419 | a | 1 |
| 1952 | 昭和27年 | 283062 | 59558 | a | 1 |
| 1953 | 昭和28年 | 296080 | 63698 | a | 1 |
| 1954 | 昭和29年 | 272202 | 55659 | a | 1 |
| 1955 | 昭和30年 | 293588 | 64215 | a | 1 |
| 1956 | 昭和31年 | 280944 | 61602 | a | 1 |
| 1957 | 昭和32年 | | | | |
| 1958 | 昭和33年 | | | | |
| 1959 | 昭和34年 | | | | |
| 1960 | 昭和35年 | | | | |
| 1961 | 昭和36年 | | | | |
| 1962 | 昭和37年 | 227551 | 53600 | d | 1 |
| 1963 | 昭和38年 | 207230 | 48740 | d | 1 |
| 1964 | 昭和39年 | 184190 | 43735 | d | 1 |
| 1965 | 昭和40年 | 166920 | 39087 | d | 1 |
| 1966 | 昭和41年 | 155718 | 35520 | d | 1 |
| 1967 | 昭和42年 | 148113 | 34200 | d | 1 |
| 1968 | 昭和43年 | 135220 | 28100 | d | 1 |
| 1969 | 昭和44年 | 132540 | 26779 | d | 1 |
| 1970 | 昭和45年 | 112277 | 20343 | d | 1 |
| 1971 | 昭和46年 | 90451 | 16752 | d | 1 |
| 1972 | 昭和47年 | 71595 | 12315 | d | 1 |
| 1973 | 昭和48年 | 61640 | 7940 | c | 1 |
| 1974 | 昭和49年 | 53230 | 6300 | c | 1 |
| 1975 | 昭和50年 | 52260 | 5880 | c | 1 |
| 1976 | 昭和51年 | 24660 | 139400 | b | 10 |
| 1977 | 昭和52年 | 656660 | 145610 | b | 10 |

1978(昭和53)年~1998(平成10)年の間は資料なし

表2: 綿羊の飼養頭数

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|------|-------|--------|-------|----|---------|
| 1896 | 明治29年 | | 8 | a | 1 |
| 1897 | 明治30年 | 165 | - | a | 1 |
| 1898 | 明治31年 | | - | a | 1 |
| 1899 | 明治32年 | | - | a | 1 |
| 1900 | 明治33年 | 164 | - | a | 1 |
| 1901 | 明治34年 | 39 | - | a | 1 |
| 1902 | 明治35年 | 18 | - | a | 1 |
| 1903 | 明治36年 | 67 | - | a | 1 |
| 1904 | 明治37年 | 190 | - | a | 1 |
| 1905 | 明治38年 | 220 | - | a | 1 |
| 1906 | 明治39年 | 302 | - | a | 1 |
| 1907 | 明治40年 | 56 | - | a | 1 |
| 1908 | 明治41年 | 87 | 4 | a | 1 |
| 1909 | 明治42年 | 119 | - | a | 1 |
| 1910 | 明治43年 | 100 | - | a | 1 |
| 1911 | 明治44年 | 168 | 8 | a | 1 |
| 1912 | 大正1年 | 188 | 12 | a | 1 |
| 1913 | 大正2年 | 186 | 10 | a | 1 |
| 1914 | 大正3年 | 308 | 14 | a | 1 |
| 1915 | 大正4年 | 354 | 7 | a | 1 |
| 1916 | 大正5年 | 456 | 31 | a | 1 |
| 1917 | 大正6年 | 537 | 9 | a | 1 |
| 1918 | 大正7年 | 653 | 24 | a | 1 |
| 1919 | 大正8年 | 860 | 4 | a | 1 |
| 1920 | 大正9年 | 996 | 7 | a | 1 |
| 1921 | 大正10年 | 1656 | 59 | a | 1 |
| 1922 | 大正11年 | 2072 | 107 | a | 1 |
| 1923 | 大正12年 | 3084 | 208 | a | 1 |
| 1924 | 大正13年 | 3795 | 304 | a | 1 |
| 1925 | 大正14年 | 4859 | 673 | a | 1 |
| 1926 | 昭和1年 | 5337 | 1171 | a | 1 |
| 1927 | 昭和2年 | 5400 | 1192 | a | 1 |
| 1928 | 昭和3年 | 5389 | 1315 | a | 1 |
| 1929 | 昭和4年 | 5722 | 1243 | a | 1 |
| 1930 | 昭和5年 | 5853 | 959 | a | 1 |
| 1931 | 昭和6年 | 5491 | 1021 | a | 1 |
| 1932 | 昭和7年 | 6177 | 956 | a | 1 |
| 1933 | 昭和8年 | 6852 | 999 | a | 1 |
| 1934 | 昭和9年 | 6951 | 1050 | a | 1 |
| 1935 | 昭和10年 | 9205 | 1051 | a | 1 |
| 1936 | 昭和11年 | 9869 | 1104 | a | 1 |
| 1937 | 昭和12年 | 11208 | 1196 | a | 1 |
| 1938 | 昭和13年 | 13582 | 1506 | a | 1 |
| 1939 | 昭和14年 | 15625 | 1869 | a | 1 |
| 1940 | 昭和15年 | 18118 | 2734 | a | 1 |
| 1941 | 昭和16年 | 26146 | 4180 | a | 1 |
| 1942 | 昭和17年 | ? | ? | a | 1 |
| 1943 | 昭和18年 | ? | ? | a | 1 |
| 1944 | 昭和19年 | 50946 | 9090 | a | 1 |
| 1945 | 昭和20年 | 72996 | 12928 | a | 1 |
| 1946 | 昭和21年 | 110604 | 16978 | a | 1 |
| 1947 | 昭和22年 | ? | ? | a | 1 |
| 1948 | 昭和23年 | 140110 | 22257 | a | 1 |
| 1949 | 昭和24年 | 145116 | 22856 | a | 1 |
| 1950 | 昭和25年 | 154475 | 23441 | a | 1 |
| 1951 | 昭和26年 | 166692 | 23211 | a | 1 |
| 1952 | 昭和27年 | 175693 | 25612 | a | 1 |
| 1953 | 昭和28年 | 177649 | 23347 | a | 1 |
| 1954 | 昭和29年 | 195430 | 24193 | a | 1 |
| 1955 | 昭和30年 | 195706 | 24272 | a | 1 |
| 1956 | 昭和31年 | 195144 | 24306 | a | 1 |
| 1957 | 昭和32年 | | | | |
| 1958 | 昭和33年 | | | | |
| 1959 | 昭和34年 | | | | |
| 1960 | 昭和35年 | | | | |
| 1961 | 昭和36年 | | | | |
| 1962 | 昭和37年 | | | | |
| 1963 | 昭和38年 | | | | |
| 1964 | 昭和39年 | | | | |
| 1965 | 昭和40年 | | | | |
| 1966 | 昭和41年 | 51270 | 3494 | d | 1 |
| 1967 | 昭和42年 | 42690 | 4403 | d | 1 |
| 1968 | 昭和43年 | 31130 | 2961 | d | 1 |
| 1969 | 昭和44年 | 23501 | 2472 | d | 1 |
| 1970 | 昭和45年 | 10977 | 1543 | d | 1 |
| 1971 | 昭和46年 | 8638 | 1321 | d | 1 |
| 1972 | 昭和47年 | 7645 | 1343 | d | 1 |

1973(昭和48)年~1998(平成10)年の間は資料なし

表3：山羊の飼養頭数

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|------|-------|--------|-------|----|---------|
| 1896 | 明治29年 | | | a | 1 |
| 1897 | 明治30年 | 119 | - | a | 1 |
| 1898 | 明治31年 | | | a | 1 |
| 1899 | 明治32年 | | | a | 1 |
| 1900 | 明治33年 | 113 | 47 | a | 1 |
| 1901 | 明治34年 | 202 | 59 | a | 1 |
| 1902 | 明治35年 | 180 | 57 | a | 1 |
| 1903 | 明治36年 | 185 | ? | a | 1 |
| 1904 | 明治37年 | 174 | 38 | a | 1 |
| 1905 | 明治38年 | 145 | 51 | a | 1 |
| 1906 | 明治39年 | 148 | 64 | a | 1 |
| 1907 | 明治40年 | 131 | 47 | a | 1 |
| 1908 | 明治41年 | 172 | 31 | a | 1 |
| 1909 | 明治42年 | 290 | 115 | a | 1 |
| 1910 | 明治43年 | 206 | 63 | a | 1 |
| 1911 | 明治44年 | 284 | 33 | a | 1 |
| 1912 | 大正1年 | 185 | 21 | a | 1 |
| 1913 | 大正2年 | 148 | - | a | 1 |
| 1914 | 大正3年 | 334 | 16 | a | 1 |
| 1915 | 大正4年 | 426 | 32 | a | 1 |
| 1916 | 大正5年 | 376 | 28 | a | 1 |
| 1917 | 大正6年 | 380 | 11 | a | 1 |
| 1918 | 大正7年 | 576 | 22 | a | 1 |
| 1919 | 大正8年 | 545 | 43 | a | 1 |
| 1920 | 大正9年 | 488 | 23 | a | 1 |
| 1921 | 大正10年 | 320 | 15 | a | 1 |
| 1922 | 大正11年 | 391 | 38 | a | 1 |
| 1923 | 大正12年 | 477 | 46 | a | 1 |
| 1924 | 大正13年 | 614 | 81 | a | 1 |
| 1925 | 大正14年 | 497 | 104 | a | 1 |
| 1926 | 昭和1年 | 457 | 112 | a | 1 |
| 1927 | 昭和2年 | 339 | 112 | a | 1 |
| 1928 | 昭和3年 | 251 | 45 | a | 1 |
| 1929 | 昭和4年 | 192 | 42 | a | 1 |
| 1930 | 昭和5年 | 181 | 21 | a | 1 |
| 1931 | 昭和6年 | 194 | 26 | a | 1 |
| 1932 | 昭和7年 | 230 | 31 | a | 1 |
| 1933 | 昭和8年 | 264 | 57 | a | 1 |
| 1934 | 昭和9年 | 379 | 73 | a | 1 |
| 1935 | 昭和10年 | 263 | 62 | a | 1 |
| 1936 | 昭和11年 | 752 | 158 | a | 1 |
| 1937 | 昭和12年 | 925 | 179 | a | 1 |
| 1938 | 昭和13年 | 1292 | 285 | a | 1 |
| 1939 | 昭和14年 | 1817 | 360 | a | 1 |
| 1940 | 昭和15年 | 3044 | 600 | a | 1 |
| 1941 | 昭和16年 | 5189 | 1079 | a | 1 |
| 1942 | 昭和17年 | ? | ? | a | 1 |
| 1943 | 昭和18年 | ? | ? | a | 1 |
| 1944 | 昭和19年 | 11164 | 2381 | a | 1 |
| 1945 | 昭和20年 | 10111 | 2065 | a | 1 |
| 1946 | 昭和21年 | ? | ? | a | 1 |
| 1947 | 昭和22年 | ? | ? | a | 1 |
| 1948 | 昭和23年 | 16975 | 2589 | a | 1 |
| 1949 | 昭和24年 | 13738 | 2170 | a | 1 |
| 1950 | 昭和25年 | 15665 | 2251 | a | 1 |
| 1951 | 昭和26年 | 15377 | 1833 | a | 1 |
| 1952 | 昭和27年 | 13930 | 1671 | a | 1 |
| 1953 | 昭和28年 | 13931 | 1763 | a | 1 |
| 1954 | 昭和29年 | 13727 | 1596 | a | 1 |
| 1955 | 昭和30年 | 14805 | 1699 | a | 1 |
| 1956 | 昭和31年 | 13340 | 1593 | a | 1 |

1957(昭和32)年~1998(平成10)年間は資料なし

表4：鶏の飼養頭数

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|-------------------------------|-------|---------|---------|----|---------|
| 1896(明治29)年~1946(昭和21)年間は資料なし | | | | | |
| 1947 | 昭和22年 | - | - | b | 1000 |
| 1948 | 昭和23年 | - | - | b | 1000 |
| 1949 | 昭和24年 | - | - | b | 1000 |
| 1950 | 昭和25年 | - | - | b | 1000 |
| 1951 | 昭和26年 | 1089000 | - | b | 1000 |
| 1952 | 昭和27年 | 1325000 | - | b | 1000 |
| 1953 | 昭和28年 | 1660000 | - | b | 1000 |
| 1954 | 昭和29年 | 1962000 | - | b | 1000 |
| 1955 | 昭和30年 | 1965000 | - | b | 1000 |
| 1956 | 昭和31年 | 1807000 | - | b | 1000 |
| 1957 | 昭和32年 | 1800000 | - | b | 1000 |
| 1958 | 昭和33年 | 2408000 | - | b | 1000 |
| 1959 | 昭和34年 | 2144000 | - | b | 1000 |
| 1960 | 昭和35年 | 2370000 | - | b | 1000 |
| 1961 | 昭和36年 | 2641000 | - | b | 1000 |
| 1962 | 昭和37年 | 2813000 | 782000 | b | 1000 |
| 1963 | 昭和38年 | 3388000 | 825000 | b | 1000 |
| 1964 | 昭和39年 | 3854000 | 871000 | b | 1000 |
| 1965 | 昭和40年 | 3987000 | 751000 | b | 1000 |
| 1966 | 昭和41年 | 3625000 | - | b | 1000 |
| 1967 | 昭和42年 | 3617000 | - | b | 1000 |
| 1968 | 昭和43年 | 4383000 | - | b | 1000 |
| 1969 | 昭和44年 | 5669000 | - | b | 1000 |
| 1970 | 昭和45年 | 6256000 | - | b | 1000 |
| 1971 | 昭和46年 | 6725000 | 874000 | b | 1000 |
| 1972 | 昭和47年 | 6783000 | 1043000 | b | 1000 |
| 1973 | 昭和48年 | 6056000 | 1026000 | b | 1000 |
| 1974 | 昭和49年 | 6231000 | 1085000 | b | 1000 |
| 1975 | 昭和50年 | 6582000 | 1130000 | b | 1000 |
| 1976 | 昭和51年 | 6536000 | 1210000 | b | 1000 |
| 1977 | 昭和52年 | 7133000 | 1267000 | b | 1000 |
| 1978 | 昭和53年 | 7289000 | 1228000 | b | 1000 |
| 1979 | 昭和54年 | 6947000 | 1240000 | b | 1000 |
| 1980 | 昭和55年 | - | - | b | 1000 |
| 1981 | 昭和56年 | 7004000 | 1316000 | b | 1000 |
| 1982 | 昭和57年 | 7382000 | 1367000 | b | 1000 |
| 1983 | 昭和58年 | 7626000 | 1312000 | b | 1000 |
| 1984 | 昭和59年 | 7667000 | 1378000 | b | 1000 |
| 1985 | 昭和60年 | 7714000 | 1286000 | b | 1000 |
| 1986 | 昭和61年 | 7766000 | 1151000 | b | 1000 |
| 1987 | 昭和62年 | 8174000 | 1211000 | b | 1000 |
| 1988 | 昭和63年 | 8005000 | 1195000 | b | 1000 |
| 1989 | 平成1年 | 7998000 | 1150000 | b | 1000 |
| 1990 | 平成2年 | 7919000 | 1037000 | b | 1000 |
| 1991 | 平成3年 | 7764000 | 1030000 | b | 1000 |
| 1992 | 平成4年 | 8126000 | 1187000 | b | 1000 |
| 1993 | 平成5年 | 8530000 | 1197000 | b | 1000 |
| 1994 | 平成6年 | 8624000 | 1186000 | b | 1000 |
| 1995 | 平成7年 | 8494000 | 1254000 | b | 1000 |
| 1996 | 平成8年 | 8451000 | 1234000 | b | 1000 |
| 1997 | 平成9年 | 8598000 | 1170000 | e | 100 |
| 1998 | 平成10年 | 8479000 | 1192300 | f | 100 |

グラフで見る十勝農業の歴史（2）

表5：豚の飼養頭数

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|------|-------|--------|-------|----|---------|
| 1896 | 明治29年 | 4009 | | a | 1 |
| 1897 | 明治30年 | 3704 | 121 | a | 1 |
| 1898 | 明治31年 | 3520 | ? | a | 1 |
| 1899 | 明治32年 | 3189 | | a | 1 |
| 1900 | 明治33年 | 3862 | 170 | a | 1 |
| 1901 | 明治34年 | 8245 | 205 | a | 1 |
| 1902 | 明治35年 | 7368 | 372 | a | 1 |
| 1903 | 明治36年 | 6062 | ? | a | 1 |
| 1904 | 明治37年 | 4782 | 364 | a | 1 |
| 1905 | 明治38年 | 7176 | 588 | a | 1 |
| 1906 | 明治39年 | 9467 | 973 | a | 1 |
| 1907 | 明治40年 | 11354 | 817 | a | 1 |
| 1908 | 明治41年 | 12292 | 768 | a | 1 |
| 1909 | 明治42年 | 14292 | 737 | a | 1 |
| 1910 | 明治43年 | 11436 | 523 | a | 1 |
| 1911 | 明治44年 | 10388 | 413 | a | 1 |
| 1912 | 大正1年 | 10324 | 249 | a | 1 |
| 1913 | 大正2年 | 6925 | 98 | a | 1 |
| 1914 | 大正3年 | 6764 | 73 | a | 1 |
| 1915 | 大正4年 | 8017 | 167 | a | 1 |
| 1916 | 大正5年 | 7808 | 211 | a | 1 |
| 1917 | 大正6年 | 9485 | 334 | a | 1 |
| 1918 | 大正7年 | 11336 | 635 | a | 1 |
| 1919 | 大正8年 | 17708 | 1906 | a | 1 |
| 1920 | 大正9年 | 33026 | 3785 | a | 1 |
| 1921 | 大正10年 | 36234 | 3368 | a | 1 |
| 1922 | 大正11年 | 35303 | 4002 | a | 1 |
| 1923 | 大正12年 | 32297 | 2336 | a | 1 |
| 1924 | 大正13年 | 26215 | 2475 | a | 1 |
| 1925 | 大正14年 | 27179 | 2746 | a | 1 |
| 1926 | 昭和1年 | 28610 | 3221 | a | 1 |
| 1927 | 昭和2年 | 32246 | 3644 | a | 1 |
| 1928 | 昭和3年 | 32292 | 3532 | a | 1 |
| 1929 | 昭和4年 | 25966 | 3010 | a | 1 |
| 1930 | 昭和5年 | 27324 | 2130 | a | 1 |
| 1931 | 昭和6年 | 35676 | 2775 | a | 1 |
| 1932 | 昭和7年 | 37239 | 3788 | a | 1 |
| 1933 | 昭和8年 | 33241 | 3455 | a | 1 |
| 1934 | 昭和9年 | 38106 | 3374 | a | 1 |
| 1935 | 昭和10年 | 48277 | 5234 | a | 1 |
| 1936 | 昭和11年 | 51693 | 5831 | a | 1 |
| 1937 | 昭和12年 | 45272 | 4194 | a | 1 |
| 1938 | 昭和13年 | 51864 | 3123 | a | 1 |
| 1939 | 昭和14年 | 51763 | 3180 | a | 1 |
| 1940 | 昭和15年 | 41953 | 2285 | a | 1 |
| 1941 | 昭和16年 | 21513 | 1302 | a | 1 |
| 1942 | 昭和17年 | ? | ? | a | 1 |
| 1943 | 昭和18年 | ? | ? | a | 1 |
| 1944 | 昭和19年 | 21320 | 1814 | a | 1 |
| 1945 | 昭和20年 | 14032 | 1186 | a | 1 |
| 1946 | 昭和21年 | ? | ? | a | 1 |
| 1947 | 昭和22年 | ? | ? | a | 1 |

| 年 | 年次 | 北海道(頭) | 十勝(頭) | 出典 | 調査単位(頭) |
|------|-------|--------|-------|----|---------|
| 1948 | 昭和23年 | 54510 | 7038 | a | 1 |
| 1949 | 昭和24年 | 49988 | 6992 | a | 1 |
| 1950 | 昭和25年 | 38716 | 4427 | a | 1 |
| 1951 | 昭和26年 | 35773 | 3198 | a | 1 |
| 1952 | 昭和27年 | 48275 | 4499 | a | 1 |
| 1953 | 昭和28年 | 35401 | 2292 | a | 1 |
| 1954 | 昭和29年 | 30123 | 1800 | a | 1 |
| 1955 | 昭和30年 | 53372 | 1779 | a | 1 |
| 1956 | 昭和31年 | 47469 | 2721 | a | 1 |
| 1957 | 昭和32年 | 92420 | — | b | 10 |
| 1958 | 昭和33年 | 80500 | — | b | 10 |
| 1959 | 昭和34年 | 105900 | — | b | 10 |
| 1960 | 昭和35年 | 97910 | 53300 | b | 10 |
| 1961 | 昭和36年 | 122240 | — | b | 10 |
| 1962 | 昭和37年 | 222750 | 23560 | b | 10 |
| 1963 | 昭和38年 | 167810 | 22970 | b | 10 |
| 1964 | 昭和39年 | 170050 | 20520 | b | 10 |
| 1965 | 昭和40年 | 169390 | 18940 | b | 10 |
| 1966 | 昭和41年 | 200270 | — | b | 10 |
| 1967 | 昭和42年 | 228440 | — | b | 10 |
| 1968 | 昭和43年 | 211330 | — | b | 10 |
| 1969 | 昭和44年 | 225750 | — | b | 10 |
| 1970 | 昭和45年 | 274710 | 22800 | b | 10 |
| 1971 | 昭和46年 | 338200 | 25870 | b | 10 |
| 1972 | 昭和47年 | 348470 | 29010 | b | 10 |
| 1973 | 昭和48年 | 365180 | 32000 | b | 10 |
| 1974 | 昭和49年 | 419580 | 33200 | b | 10 |
| 1975 | 昭和50年 | 438010 | 35800 | b | 10 |
| 1976 | 昭和51年 | 415470 | 38750 | b | 10 |
| 1977 | 昭和52年 | 428510 | 41770 | b | 10 |
| 1978 | 昭和53年 | 480900 | 50500 | b | 10 |
| 1979 | 昭和54年 | 547020 | 55000 | b | 10 |
| 1980 | 昭和55年 | — | — | b | 10 |
| 1981 | 昭和56年 | 591430 | 61500 | b | 10 |
| 1982 | 昭和57年 | 565190 | 60390 | b | 10 |
| 1983 | 昭和58年 | 557000 | 61200 | b | 10 |
| 1984 | 昭和59年 | 595200 | 60600 | b | 10 |
| 1985 | 昭和60年 | 604000 | 59300 | b | 10 |
| 1986 | 昭和61年 | 647200 | 61000 | b | 10 |
| 1987 | 昭和62年 | 671800 | 62700 | b | 10 |
| 1988 | 昭和63年 | 672100 | 64500 | b | 10 |
| 1989 | 平成1年 | 663800 | 62600 | b | 10 |
| 1990 | 平成2年 | 642500 | 59100 | b | 10 |
| 1991 | 平成3年 | 629300 | 58300 | b | 10 |
| 1992 | 平成4年 | 604700 | 54300 | b | 10 |
| 1993 | 平成5年 | 613600 | 49900 | b | 10 |
| 1994 | 平成6年 | 605300 | 51200 | b | 10 |
| 1995 | 平成7年 | 582400 | 50000 | b | 10 |
| 1996 | 平成8年 | 548500 | 45300 | b | 10 |
| 1997 | 平成9年 | 543900 | 47600 | e | 1 |
| 1998 | 平成10年 | 542000 | 40700 | f | 1 |

おわりに

整理にあたっては、本館学芸調査員 千葉章仁（平成13年度～平成17年度）、平林結実（平成18年度～平成19年度）、および学芸員 山原敏朗が担当した。

なお、農林水産省北海道農政事務所帯広統計・情報センター統括情報官 木村浩之氏には統計データ関するご教示とご協力を得ました。最後になりましたが、感謝の意を表します。

註）『十勝農業史』は本館で保管しております。閲覧をご希望される方はご連絡ください。